

足袋のサイズとメートル法、モン数ってなんの数？

11月1日は経済産業省が定める計量記念日です。計量制度に対する理解の普及を図るもので、経済産業省四大記念日の一つとされています。

現在の計量法で用いられているメートル法は、国際的な単位系として明治時代に初めて日本に紹介されました。大正時代には単位系をメートル法に統一する法律も公布されましたが、完全実施には至らず、尺や貫など従来の単位系と混在する時代が続きました。

一般の商取引がメートル法に統一されたのは昭和34年（1959）のことです。当時の行田市では、前年9月か



足袋のパッケージとコハゼ(部分拡大、郷土博物館蔵)

ら商店街でメートル法に基づく販売を行うなど、新しい単位に早く慣れようという動きがみられました。市の広報「行田市政だより」でも昭和32年（1957）6月から翌年12月にかけてたびたび記事を掲載し、周知に努めたことがうかがえます。今でこそメートル法が当たり前ですが、当時は慣れ親しんだ単位が消えることに戸惑った人も少なくなかったことでしょう。

メートル法の完全実施後、見られなくなった単位の一つが「文」です。足袋や靴のサイズを示す単位で、昔のお金（一文銭）の直径を元に一文（約2.4センチメートル）とし、長らく使われていました。足袋のサイズは出荷する際のパッケージ類（画像①②）やコハゼ（画像③④）に記されています。郷土博物館の所蔵資料には「文」でサイズを示した足袋製品が多くあり、これらは昭和34年よりも前に作られたと推測されます。一方「文」とセンチメートルの併記やセンチメートルだけで示した製品もみられ、メートル法化への対応に当たった足袋業界の動きが想像されます。

（郷土博物館 岡本夏美）

はじめまして



令和2年1月生まれのお子さんを募集します

- 11月2日月～30日月に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、12月2日(水)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和元年11月生まれのおともだち



関谷 梨杏ちゃん(谷郷)
令和元年11月1日生まれ
父・尚之さん 母・希美代さん
「元気に大きくなあれ♡」



木村 來未ちゃん(埼玉)
令和元年11月13日生まれ
父・哲崇さん 母・真弥さん
「踊るおてんば娘♡
元気に育ってね!」



金井 翔也斗ちゃん(持田)
令和元年11月29日生まれ
父・哲さん 母・仁美さん
「パパとママの宝物☆」



佐藤 守ちゃん(門井町)
令和元年11月18日生まれ
父・雄次さん 母・奈津子さん
「みんなを守る
強い男になつてね」



小堺 結鈴ちゃん(佐間)
令和元年11月16日生まれ
父・秀樹さん 母・亜希子さん
「輝かしい未来が
広がっていきますように♡」



野中 駿斗ちゃん(白川戸)
令和元年11月16日生まれ
父・祐助さん 母・理恵子さん
「いつもニコニコ」
笑顔ありがとう♡

今月の表紙

図書館では多くの方に本に親んでもらおうと、利用者の興味に応じたコーナーの設置やおはなし会などのイベントを開催しています。皆さん、気軽にご利用ください。秋の夜長にお気に入りの一冊を探してみたいかがですか。



目指せ!友だち登録10,000人!
(現在3,700人)

行田市公式LINEの
友だち登録はこちらから!

● 市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。

ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>



環境にやさしい
植物油インキ

市報ぎょうだは
再生紙を
使用しています